

第7回： 化学物質による環境汚染

開催日： 1985年6月26日～27日 / 会場： 「自動車会館」東京都

開催趣旨： 有機塩素化合物による地下水汚染やダイオキシン問題など、昨今化学物質による環境汚染があらたな環境問題としてクローズアップされてきました。化学物質の数は工業的に生産されているものだけでも現在既に数万種あると言われており、その数は今後ますます増大していくものと考えられます。このように種類の多い化学物質の汚染に対しては、問題が生じてから一つ一つ解決していく方法では対処できず、化学物質の総合的な管理が必要であると言われていています。

そこで、当協会では、このような化学物質による環境汚染の対応策を検討するため、一連のセミナーを企画いたしました。このセミナーは汚染の実態から調査方法、法制度まで化学物質による環境汚染防止に必要な事項を網羅したものにする予定ですが、今回はまず、化学物質の環境汚染の実態についてさまざまな角度から検討を加えたいと考えております。

講演タイトル（講師／所属（当時））：

- 化学物質による環境汚染（吉田多摩夫／東京水産大）
- 化学物質による環境汚染対策（平石尹彦／環境庁）
- 化学物質の情報とデータベース（中舘正弘／国衛生試）
- 化学物質の生産と使用の実態（村田徳治／循環資源研）
- 廃棄物埋立地からの環境汚染（池口孝／国公衛院）
- 化学物質による環境汚染の実態（今田長英／環境庁）
- 地下水汚染の実態（中杉修身／国公害研）
- 保存性有機塩素化合物の環境動態（立川涼／愛媛大）
- 化学物質の分析法の最近の進歩（森田昌敏／国公害研）
- 化学物質の環境中運命予測モデル（吉田喜久雄／株三菱化成）